未来のニーズを創造する
クニミネ工業株式会社

INVESTORS GUIDE 2021

KUNIMINE INDUSTRIES CO., LTD.

資源を科学して未来のニーズを創造、産業の発展、社会インフラ整備に貢献

当社グループは「経世済民」の経営理念を掲げ、1943年の創業以来、貴重な地下資源であるベントナイトの採掘・製造・販売を軸に、自動車、産業機械、建設、石油、農薬、ペット関連分野をはじめ、様々な産業分野に事業展開し、業界のリーディングカンパニーにまで成長してまいりました。これからも「未来のニーズの創造」に向け、新商品開発や市場開拓を通じて顧客の創造を図り、中長期での収益拡大を図ってまいります。

このたび、さらなる業容の拡大と持続的な企業価値の向上を目指すべく、國峯保彦を取締役会長、勢藤大輔を代表取締役社長として、経営体制の一層の強化を図ることといたしました。

株主・投資家の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

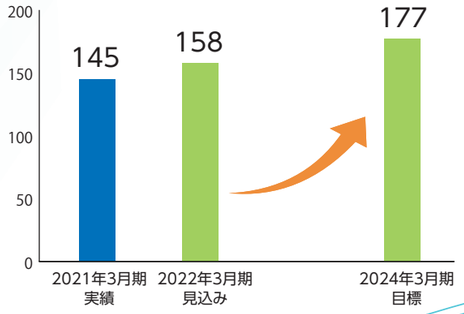
取締役会長
國峯 保彦

代表取締役社長
勢藤 大輔

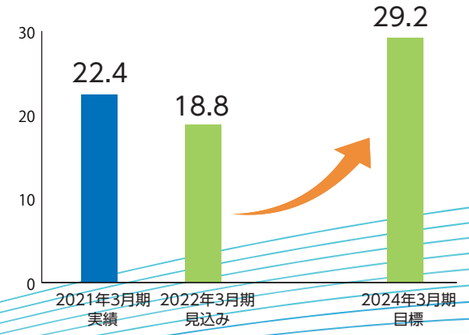
業績サマリー

グループ全体	土木分野	鋳物分野
減収増益	減収増益	減収減益
●ベントナイト事業と化成品事業が減収増益、アグリ事業は増収増益	●採算性の高い復興関連の需要が増加	●第1四半期までの大幅な需要の落ち込みが影響

売上高（2021年3月期） 145億円



営業利益（2021年3月期） 22.4億円



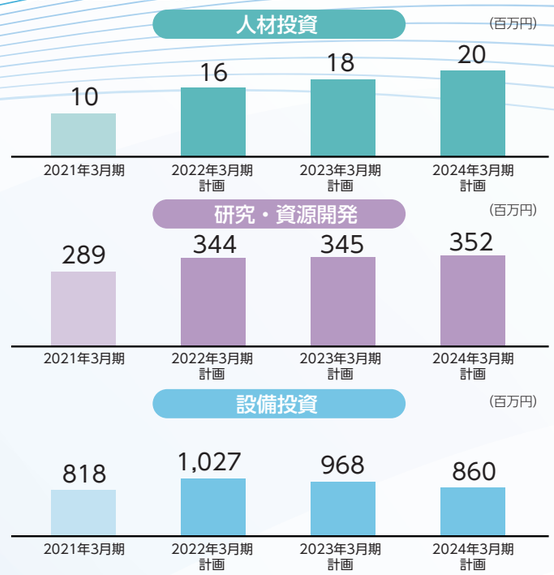
投資政策

人材投資
研究拡充
人事制度改革

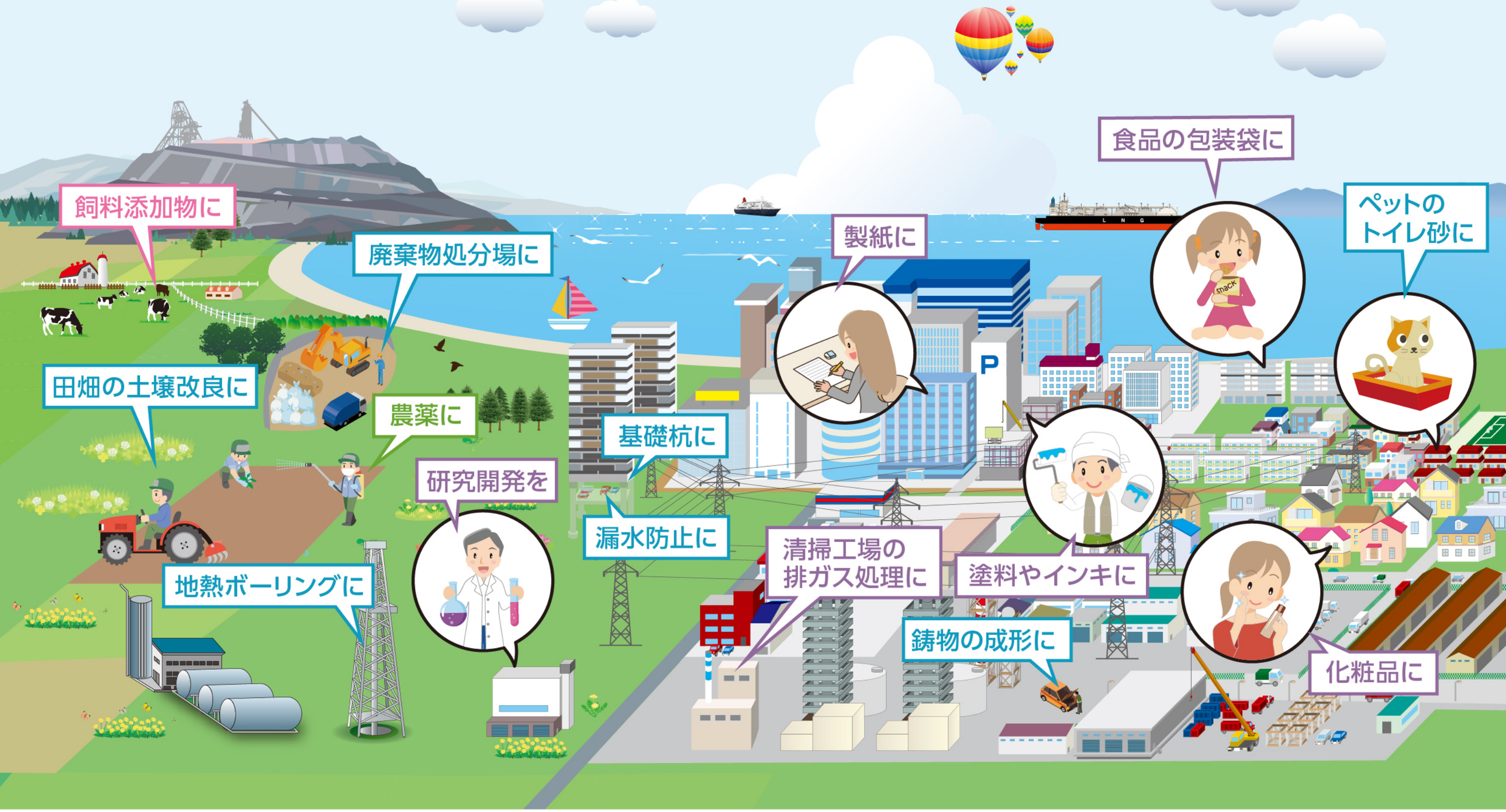
設備投資
省人化設備導入

研究開発
新製品開発
資源探査
採掘技術開発

投資計画の推移



暮らしの中のクニミネ工業



ベントナイト事業部門

●鋳物分野

自動車や産業機械の部品となる鋳物を造るための鋳型は、ベントナイトを粘結材とした砂を成型することで造られます。この鋳型は生産性に優れたものであり、多くの鋳物生産に用いられています。鋳物部門では、ベントナイト製品の販売のみではなく、黒磯研究所での鋳物砂分析などを通じて歩留まりの改善など、お客さまの様々なニーズに応える当社グループ独自のトータルエンジニアリングサービスを提供しています。

今後も国内はもとより、成長が期待される海外市場においてもKUNIMINE（THAILAND）CO.,LTD.を通じて東南アジアへ進出する日系企業との連携を強め、海外ユーザーへの対応に注力してまいります。

第72回世界鋳造会議
（World Foundry Congress 2016）に出展

様々な種類のベントナイト

主力商品

- クニゲルVAS
- クニボンドTY
- ネオクニボンド
- 「クニボンドM」シリーズ
- 「クニボンドTY」シリーズ

●土木分野

ベントナイトの持つ増粘性、遮水性を活かして、建物の基礎となる杭を形成するアースドリル工法や、一般廃棄物処分場での遮水工事等、広くベントナイトが使用されています。今後、脱炭素化への流れを受けて、地熱発電や海底資源掘削等のボーリング需要も期待されます。更には、低レベル放射性廃棄物処理用途へも、環境負荷が少なくコストパフォーマンスに優れるベントナイトのニーズが高まっております。

引き続き、国土強靭化に向けた国内インフラ整備事業への継続的な取組みに加えて、復興関連や地熱発電事業への積極的な営業活動を展開してまいります。

場所打ち杭（アースドリル工法）の現場

主力商品

- クニゲルV1
- クニゲルGS
- 佐渡
- クニゲルVO
- クニゲルGT
- 「クニシール」シリーズ
- クニゲルV2
- クニゲルU

●ペット分野

猫砂1番 消臭＋エコ

猫砂1番 超消臭

ベントナイトの持つ高い吸水性と粘結性を活かして、ペットの尿などの排泄物を素早く固め、手軽に処理するペット用トイレ砂は、私たちの最も身近なベントナイト製品です。ペット業界において、日常的な消耗品が多いペットケア用品市場では、消費者ニーズを反映して低価格・高品質なPB商品の展開が加速していたこともあり、2016年4月にペット用トイレ砂の仕入販売窓口をクニミネマーケティング㈱に一本化して、効率的な販売体制を構築いたしました。

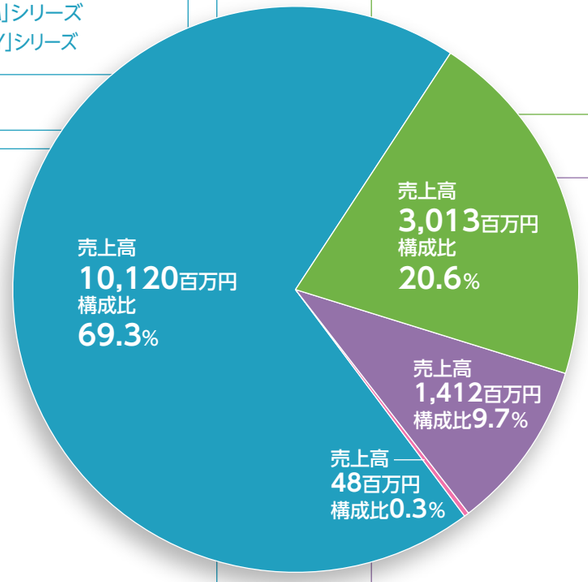
お客さまのニーズに基づき開発した新商品として、小さく固まって消費量を抑えられる「猫砂１番消臭+エコ」、消臭力に特化したペレットタイプ「猫砂１番超消臭」を発売するなど、今後もニーズを確実に捉えた商品展開を行ってまいります。

主力商品

ペレットタイプ
- 猫砂１番超消臭
- 猫砂1番大粒

破砕タイプ
- 猫砂1番
- 猫砂1番金印
- スーパーQSDX

細粒タイプ
- 猫砂１番消臭+エコ



2021年3月期実績

アグリ事業部門

製剤技術に強みをもつ当社グループでは、農薬加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農薬メーカーなどから農薬の加工を受注しています。

農薬業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーション※を防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。

当社グループでは、多品種少量生産とクロスコンタミネーション防止に対応できる体制を構築するとともに、独自の造粒技術に磨きをかけながら、受注を拡大してまいりました。

今後もITなどを活用した省人・省力化への設備投資とともに生産管理体制を強化しながら、顧客満足の向上を目指してまいります。

※クロスコンタミネーション（交叉汚染）：製造過程で農薬製品同士が混じり合うこと

自動包装設備

X線検査装置

主力商品

農薬キャリアー（基剤）
- クレー細粒剤
- クニゲルV1
- 天竜

フロアブル製剤用原料
- クニピア-F
- クニピア-G
- スメクトン-SA

化成品事業部門

独自の製法により天然ベントナイトを精製した「クニピア」は、保湿性や伸展性、増粘性が向上し、私たちの毎日の生活に欠かせない化粧品・塗料・医薬品などに配合されています。合成技術によってつくり出された「スメクトン」は、高粘性や高チキソトロピー性を発揮する特長を活かし、透明性のある増粘剤や機能性向上剤として、幅広い分野で利用されています。さらに近年は、本来粘土素材がもつ親水性質を有機溶媒にも使用できるよう改質した「親油化スメクトン」も市場から高い評価を得ており、樹脂フィラーなどへ適用幅がさらに広がっています。

また、需要が拡大してきた精製ベントナイトについて生産能力の増強を図り、2019年1月にクニピア第2工場を完成させました。今後も未来事業や技術革新を見据えた積極的な設備投資を行うとともに、未来のニーズ創造に向けた研究開発にも力を注ぎ、海外市場や先端機能材料分野への新たな展開を進めてまいります。

主力商品

- 「クニピア」シリーズ
- 「モイストナイト」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ
- 環境保全処理剤

クニピア第2工場

CITE JAPAN 2021に出展

ライフサイエンス部門

生命を事業領域とする当事業部では、既存事業として「飼料添加物」「食品添加物」用途への展開を行っています。「飼料添加物」分野においては、当社ベントナイトは、カビ毒吸着能に加えたんぱく質毒素を吸着する付加価値を有しており、飼料添加物として活用することで、畜産業界の治療から予防医療へのニーズシフトへ対応しております。これらを生産者さまに提供することで、飼料で多用される重金属の低減が可能になるなど、家畜および環境への負荷低減が期待されています。現在、環境負荷低減に向け、金属成分から生命にやさしいベントナイトへの置き換えを進めています。

また、付加価値の高い「食品添加物」や、新規分野「土壌改良」「動物医薬」用途なども、産学官連携による「オープンイノヴェーション」を活かした活動から新しい付加価値を創造し、順次市場に提供してまいります。

主力商品

既存分野
- 飼料添加物：畜産動物の病気予防など
- 食品添加物：ワインの澱取り剤など

新規分野
- 土壌改良・水質浄化・動物医薬分野への応用も研究中
- 赤潮対策の水質浄化剤を2021年度に上市予定

飼料添加物

食品添加物

トップインタビュー

Q 2021年3月期の業績についてお聞かせください

A 当期は、新型コロナウィルス感染症により、企業の体質変革が求められる1年であったと認識しております。期首より、自動車関連向け需要が激減した事により、販売計画、設備投資計画の見直しを迫られました。併せて、緊急事態宣言の発令、在宅ワークが求められる中で、当社のデジタル化への対応が課題であると痛感しました。感染は未だ終息には至っておりませんが、国内外、製造業を中心に下期には生産が回復してまいりました。当社においても、復興関連需要を確実に取り込む一方、投資対効果意識の徹底、業務のデジタル化推進を図ってまいりました。その結果、当期の売上高は145億93百万円(前期比5.5%減)、営業利益は22億46百万円(同16.3%増)、経常利益は24億9百万円(同15.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は16億81百万円(同2.0%)でございました。売上高は減収となりましたが、利益面は、過去最高益を達成する事ができました。

Q 新中期経営計画(2022年3月期～2024年3月期)についてお聞かせください。

A これまでの経済成長モデルは、人口増加を背景とした大量生産、大量消費、いわゆる大量、高速、大型モデルであったと言えます。この成長モデルは、地球の資源は無限である、地球の自浄作用は、我々人間の経済活動を遥かに凌駕する、との前提に立ったモデルでありました。昨今、盛んに叫ばれている気候変動問題、これに端を発する脱炭素気運の高まりは、この前提が完全に間違っていた事の現れ、証であると認識しております。

併せて、社会の少子化、高齢化、長寿化に伴う社会保障費の爆発的な増加、そして不況毎の経済対策、金融緩和は一国の財政を酷く毀損しております。我が国経済は、環境面でも、財政面でも、次世代に多大な負担を押し付けて、ようやく成り立っていると言わざるを得ません。これ以上、次世代や環境を犠牲にして社会活動を拡大する事は許されません。今後は、これまで傷つけられてきた環境を治癒、治療するような事業、即ち静脈産業が必要であると考えております。このような認識のもと、当社では『資源(粘土)を科学して、静脈産業に貢献する』とのスローガンを掲げ、全社一丸となって中期経営計画に取り組んでまいります。具体的には、低レベル放射性廃棄物処理需要、地熱発電向け需要を取り込み、国の脱炭素化に貢献してまいります。ベントナイト事業を通じて、国土強靭化に貢献してまいります。化成品事業、ライフサイエンス事業を通じて、食糧問題、循環型社会構築に貢献してまいります。その他、社会の抱える様々な問題に対して、課題解決型、更には、新たな価値創造を生む提案を行っていきます。こうした活動により、2024年3月期の連結業績における売上高は177億22百万円、営業利益は29億25百万円、ROEは10%以上を目指していきます。

Q 最後に株主の皆さまへメッセージをお願いします。

A 当社の誇る貴重な資源を科学する事を通じて、高付加価値製品、サービスの提供、社会がより便利に、環境がより豊かになる様、貢献してまいります。株主・投資家の方々をはじめ、取引先や地域社会の方々など、すべてのステークホルダーのご期待にお応えし、企業価値向上に努めてまいります。当社既存の事業ポートフォリオをベースに、地に足をつけた経営を行いながら、新規事業へも積極的に挑戦、付加価値を高めて、より強靭な企業体質を目指していきます。更には、社員一人ひとりが、当社の事業活動を通じて社会に貢献していると実感できる会社を実現してまいります。株主・投資家の皆さまには、当社グループへの変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

外部環境

クニミネ工業が考える社会的課題

▶CO2排出削減

- ●再生可能エネルギー関連(土木)
  - ⇒地熱発電開発(ボーリング掘削)
  - ⇒原子力発電(放射性廃棄物処理)

▶国土強靭化、循環型社会

- ●国土強靭化(土木)
  - ⇒復興関連、リニア新幹線
- ●循環型社会(化成品／ガスバリア)
  - ⇒フードロス削減、脱プラスチック

▶食糧問題対策

- ●食料生産効率化を支援
  - ⇒畜産・養魚の効率化(ライフ)
  - ⇒高機能除草剤
    (アグリ:製剤技術高度化)

創造する価値

環境、社会の治療・治癒を目的とする静脈産業の必要性

基本戦略

- ●福島復興関連・脱炭素関連・静脈産業への取組み
  - ・復興関連事業／放射性廃棄物処理
  - ・インフラ整備事業
- ●資源の高度利用化
  - ・化成品(ガスバリア材料他)
  - ・ライフサイエンス(食品添加物)
- ●海外市場展開・海外鉱探査
  - ・アセアン市場(鋳物／化成品)
  - ・海外鉱活用(米国・中国以外)
- ●企業体質強化
  - ・ESG経営／DX推進
  - ・新鉱区開発、採掘技術開発

資源(粘土)を科学して、静脈産業に貢献する

鋳物
- ●コストダウンによる国内シェア拡大
- ●海外市場開拓

土木
- ●拡大する需要の取り込み
  地熱発電／国内インフラ(リニア新幹線等)
  静脈産業(放射性廃棄物処理等)

アグリ
- ●スマート農業への対応
  製剤技術高度化

化成品
- ●ファインケミカル分野の拡大
  国内外／化粧品等
- ●研究開発の継続／加速

ライフサイエンス
- ●飼料分野の拡大
- ●動物医療分野での用途研究

全社
- ●ESG経営方針明確化
- ●カーボンニュートラル推進

社会的価値

新中計最終年度目標　売上高 17,722 百万円　営業利益 2,925 百万円

環境(Environment)

- ●自社CO2排出量低減
- ●CO2排出量削減に関わる事業の推進
  (地熱発電等)

地熱発電

地熱発電は、CO2をほとんど出さずにエネルギーを作り出すことができるクリーンな発電方法です。
地上で降った雨は、地下の高温マグマ層まで浸透すると、マグマの熱で蒸気になって地下1,000m～3,000m付近に溜まります。井戸などを掘ってこの高温の蒸気でタービンを回して発電するのが、地熱発電の一般的なしくみです。
地下1,000mを超える井戸などを掘削する際に、ベントナイトを活用して掘削孔の壁に泥壁を形成することで、崩壊を防止しています。

社会(Social)

- ●廃棄物処理関連事業の推進
- ●資源を科学した新規産業の創出
- ●アグリ事業造粒技術開発
- ●畜産分野での用途探求

低レベル放射性廃棄物処理

原子力発電などで発生した放射性廃棄物の処理、処分は、核燃料サイクルの中で重要な役割を担っているとともに、老朽化した原子力発電所の解体などにおいても必要とされています。
ベントナイトはこれらの処分において、廃棄物からの放射性物質の漏えいを防ぐための遮水性亀裂などを充填する自己シール性など様々な性能が期待でき、充填材、緩衝材の候補材料となっています。
当社では30年以上前から、この分野において、試験材料の提供や受託試験研究などを続けております。

ガスバリア素材の開発

産業技術総合研究所と共同開発した特殊な粘土鉱物の薄膜シートでは、アルミ蒸着レベルを上回るガスバリア性を実現いたしました。
ガスバリア材料の市場は、フードロス削減や、脱プラスチックの社会的ニーズの高まりから、食品包装や医薬品などで広がりを見せており、さらにハイバリア領域においては、電子材料(基板やLCD、有機ELなど)の保護・封止技術など様々な用途への応用が可能と考えられています。

飼料添加物への活用

ベントナイトにはカビ毒吸着などの効果が確認されており、家畜の飼料添加物として活用することで、家畜および環境への負荷低減が期待されています。
家畜の飼料には病気予防・成長促進のため、飼料に銅や亜鉛などの金属が添加されますが、多量に添加された場合金属成分が高濃度で排出され、土壌の汚染が懸念されます。
環境負荷低減に向け、金属成分から生命にやさしいベントナイトへの置き換えを進めています。

ガバナンス(Governance)

- ●3分の1以上の社外取締役確保
- ●コンプライアンス基本方針・規定、社員倫理行動規範の順守
- ●内部通報制度活用による不正行為早期発見

ESGへの取組み

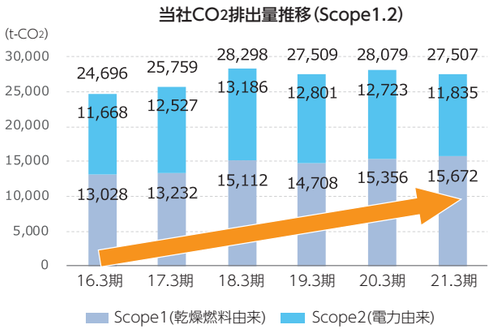
Topics1　CO_2排出量の状況と今後の対応

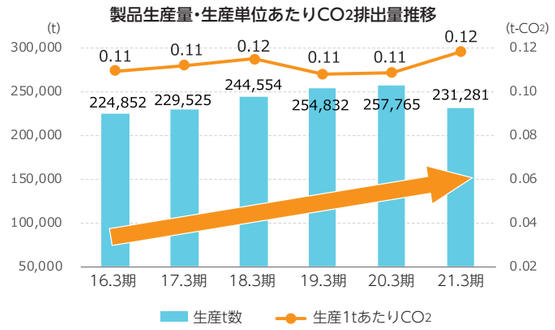
当社グループCO_2排出量の状況

- 当社グループのCO_2排出量は、16.3期から上昇傾向が継続
- Scope2（電力由来）の排出量は約1.2万t-CO_2/年前後で推移
- Scope1（乾燥燃料由来）の排出量が生産量に伴って増加し、CO_2排出量増加の主要因となっている

今後の見通しと対応

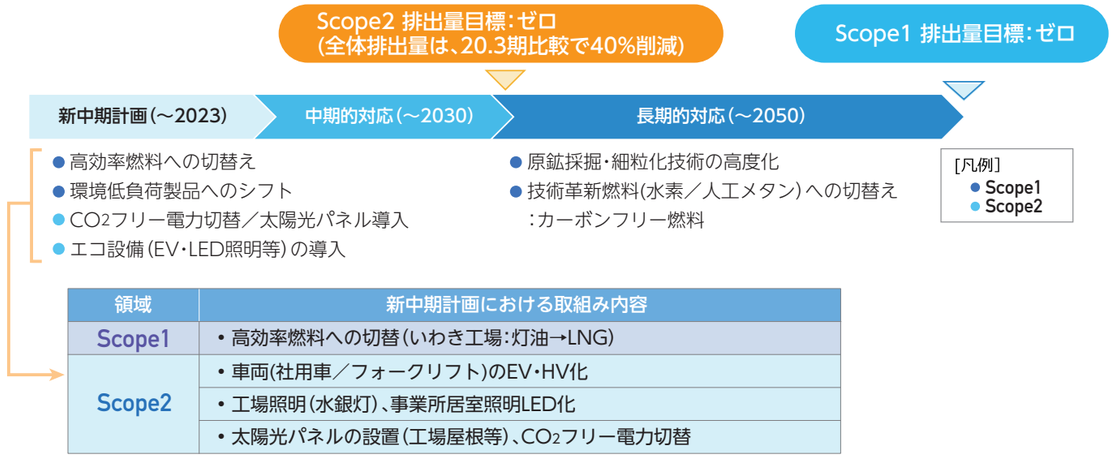
- 当社製品の生産量は、需要の拡大に伴い増加傾向にあり（21.3期はコロナ影響で減少）、生産単位あたりのCO_2排出量は横ばいで推移
- 今後も放射性廃棄物処理や国土強靭化等のニーズから生産量の増加を見込んでおり、生産におけるCO_2排出への対策は急務
- 当社グループでも2050年のCO_2排出量実質ゼロを目指し、次期中期計画では生産単位あたりCO_2の削減を進め、CO_2排出量増加の抑制を図る





Topics2　カーボンニュートラルに向けた取組み

- 中期的な対応（～2030年）はCO_2削減を重点課題とし、太陽光パネル・水力発電(小規模)・高効率燃焼設備・各種省エネ機器等のあらゆるエコ設備の導入を、可能な限り進めていく
- 長期的な対応（～2050年）では、Scope1のCO_2削減に向け、原鉱の採掘段階から見直しを進めていく。具体的には原鉱の含水率低減を狙いとし、採掘技術・細粒化技術の高度な開発を進めることで製造工程の大幅な見直しを図る。加えてコストダウンも進め、競争力強化にもつなげていく

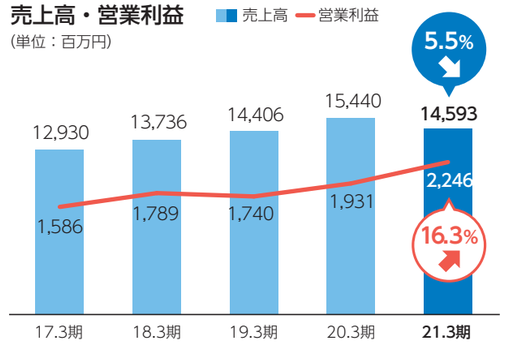


領域	新中期計画における取組み内容
Scope1	• 高効率燃料への切替（いわき工場：灯油→LNG）
Scope2	• 車両(社用車／フォークリフト)のEV・HV化
	• 工場照明（水銀灯）、事業所居室照明LED化
	• 太陽光パネルの設置（工場屋根等）、CO_2フリー電力切替

財務ハイライト（連結）

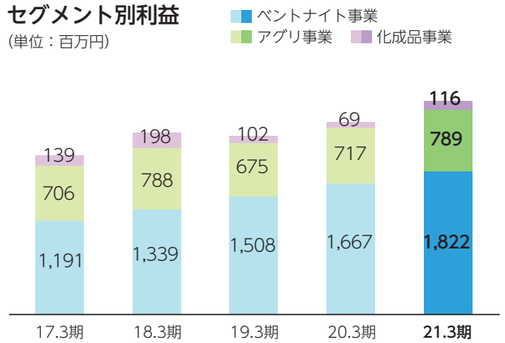
売上高・営業利益

(単位：百万円)



セグメント別利益

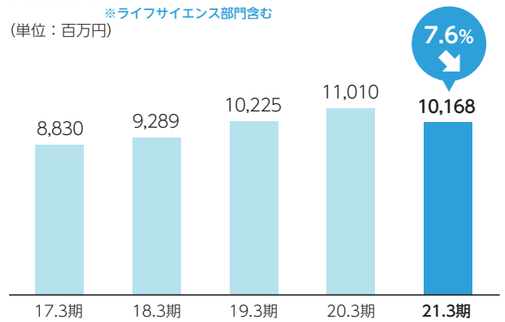
(単位：百万円)



売上高（ベントナイト事業）

※ライフサイエンス部門含む

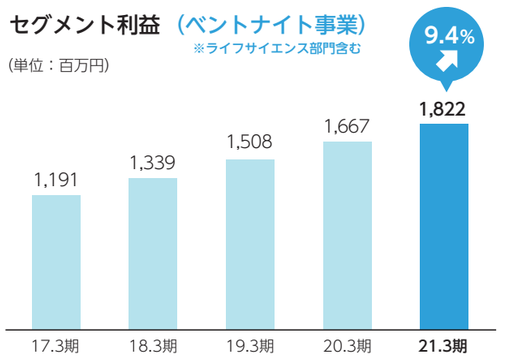
(単位：百万円)



セグメント利益（ベントナイト事業）

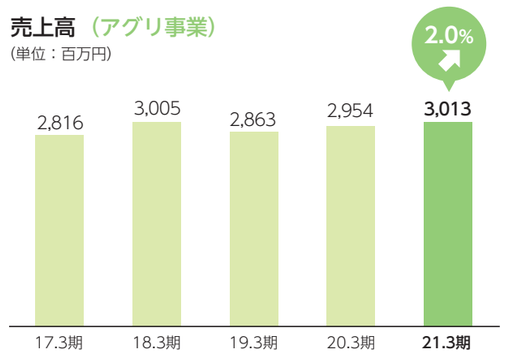
※ライフサイエンス部門含む

(単位：百万円)



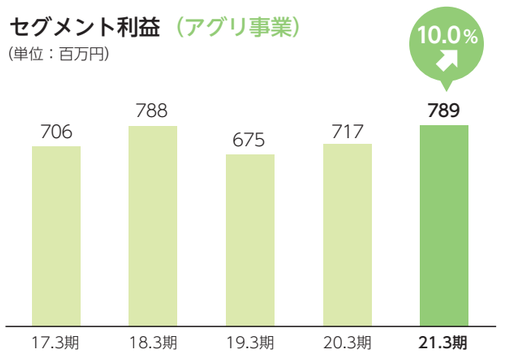
売上高（アグリ事業）

(単位：百万円)



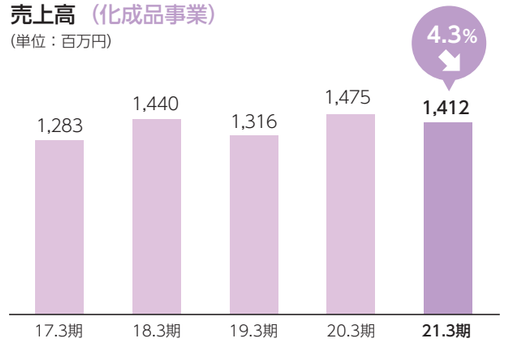
セグメント利益（アグリ事業）

(単位：百万円)



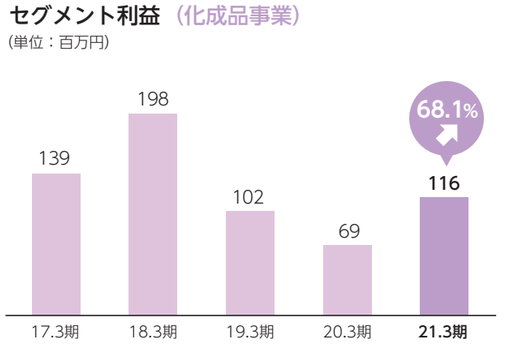
売上高（化成品事業）

(単位：百万円)



セグメント利益（化成品事業）

(単位：百万円)



ネットワーク／グループ会社 (2021年6月29日現在)

1 本社
〒101-0032
東京都千代田区岩本町一丁目10番５号
(T.M.M.ビル３F)
電話 03-3866-7251 (代表)

2 名古屋支店
〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅四丁目３番10号
(東海ビル５F)
電話 052-587-5232

3 大阪支店
〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原四丁目４番64号
(新大阪千代田ビル２F)
電話 06-6392-4581

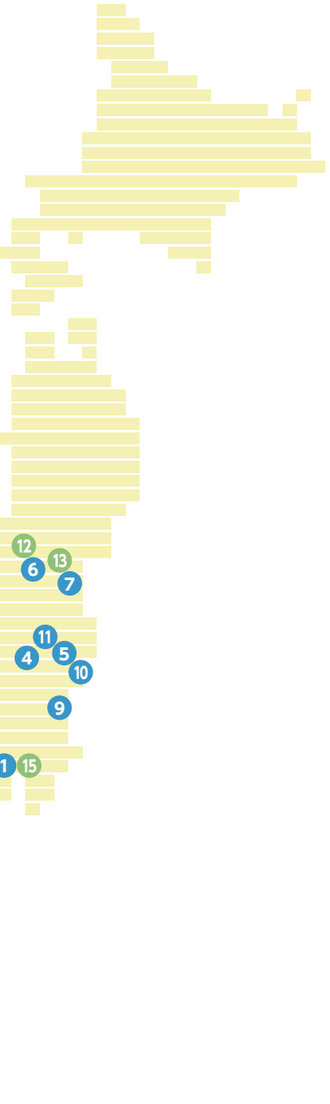
4 黒磯研究所
〒325-0013
栃木県那須塩原市鍋掛1085番地454
電話 0287-64-1981

5 いわき工場・研究所
〒972-8312
福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23番５号
(常磐鹿島工業団地内)
電話 0246-44-7100

6 左沢(あてらざわ)工場
〒990-1101
山形県西村山郡大江町
大字左沢782番地
電話 0237-62-2255

7 蔵王工場
〒989-0916
宮城県刈田郡蔵王町
遠刈田温泉字下田6番地
電話 0224-34-2011

8 御津(みと)工場
〒441-0314
愛知県豊川市御津町
御幸浜一号地１番17
(御幸浜企業団地内)
電話 0533-76-3107



9 太田工場
〒313-0008
茨城県常陸太田市増井町
字上台166番地
電話 0294-72-2251

10 小名浜工場
〒971-8184
福島県いわき市泉町
黒須野字江越246番７号
(小名浜臨海工業団地内)
電話 0246-56-5890

11 郡山工場
〒963-0531
福島県郡山市日和田町
高倉字榎田２番地１
(郡山北部工業団地内)
電話 024-983-9201

グループ会社

12 クニマイン株式会社(株式100%保有)
ベントナイト原鉱石の採掘、販売
〒990-1271　山形県西村山郡大江町大字月布722番地9号
電話 0237-64-2121

13 川崎鉱業株式会社(株式100%保有)
ベントナイト原鉱石の採掘、販売
〒989-1502　宮城県柴田郡川崎町大字今宿字上ノ台6番地1号
電話 0224-84-4661

14 関ベン鉱業株式会社(株式100%保有)
ベントナイトの採掘、製造および販売
〒959-4622　新潟県東蒲原郡阿賀町白崎1573番地
電話 0254-99-2028

15 クニミネマーケティング株式会社(株式100%保有)
ペット用品の販売など
〒279-0001　千葉県浦安市当代島一丁目1番25号(板徳ビル3F)　電話 047-711-1761

KUNIMINE (THAILAND) CO.,LTD.(株式49%保有)
ベントナイト製品の販売、ベントナイト用途周辺関連商材の販売など
2 Jasmine City Building, 12th floor, Soi Sukhumvit23 (Prasarnmitr),
Klongtoey-Nua,Wattana, Bangkok 10110, Thailand
電話 +66-2-612-7302

TRANS WORLD PROSPECT CORPORATION(株式71.43%保有)
米国ベントナイト採掘会社への出資
2000 West Loop South, Suite 1100,Houston, TX 77027,USA

株式の状況（2021年3月31日現在）

発行可能株式総数
40,000,000株

発行済株式の総数
14,450,000株

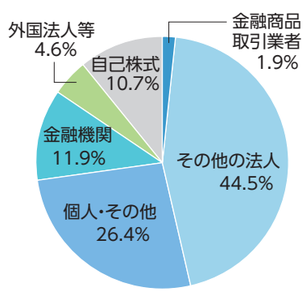
株主数
3,935名

大株主（上位10名）

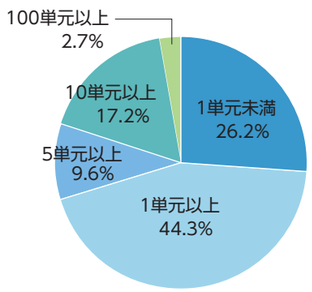
株 主 名	持株数（千株）	持株比率（%）
クニミネエンタープライズ株式会社	4,909	38.05
クニミネ工業取引先持株会	697	5.41
日本化薬株式会社	438	3.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	414	3.21
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	392	3.04
クミアイ化学工業株式会社	329	2.56
川上　悟	293	2.28
日昭株式会社	198	1.53
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC	167	1.30
株式会社三菱ＵＦＪ銀行	160	1.24

（注）持株比率は自己株式（1,548,395株）を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況

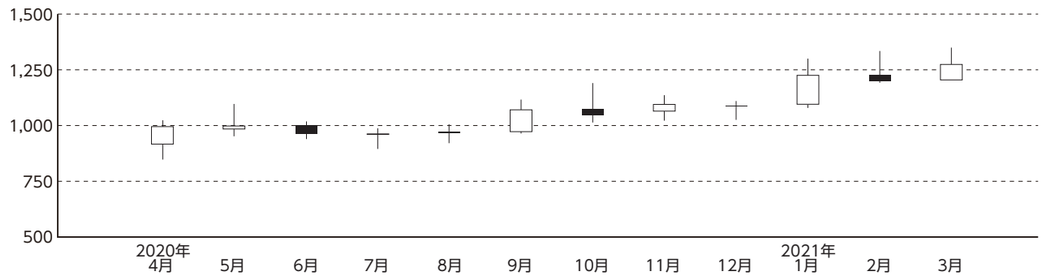


所有数別株主数分布状況

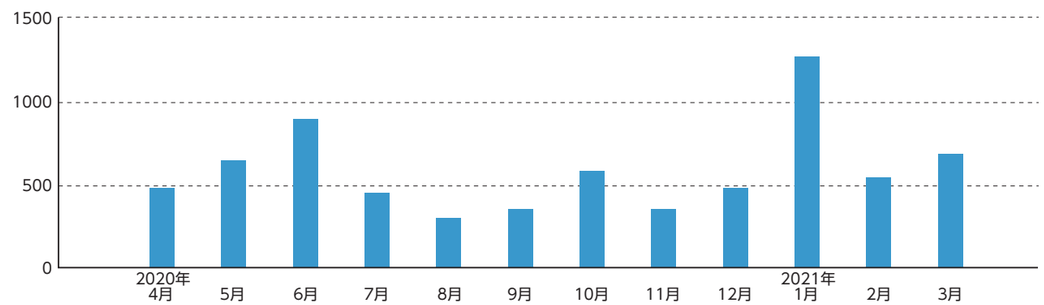


株価・出来高の推移

株価（月足）（単位：円）



月間出来高（単位：千株）



会社概要／株主メモ（2021年3月31日現在）

商　　号　クニミネ工業株式会社

代 表 者　代表取締役社長
　　國　峯　保　彦

本　　社　〒101-0032
　　東京都千代田区岩本町一丁目10番5号
　　03-3866-7251（代表）

設　　立　1943年（昭和18年）6月1日

資 本 金　16億1,780万円

従業員数　235名

会社の主な事業目的

- 鉱業
- 岩石および粘土類の採取、加工ならびに販売
- 無機・有機の工業薬品、農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品の製造・加工ならびに販売
- 食品・食品添加物、飼料・飼料添加物の製造・加工ならびに販売
- 水処理剤・廃汚泥水処理剤および処理装置の製造・販売ならびに施工および運営
- 粉粒体・鋳造・土木用機器装置等に関連するプラントの設計・施工および運営ならびにその機器類および資材の製造販売

役員一覧（2021年6月29日現在）

取締役会長	（全般）	國峯保彦
代表取締役社長	（全般）	勢藤大輔
専務取締役	（ベントナイト営業部管掌、生産部管掌）	木村敏男
取締役	（資源開発部長、採鉱技術部管掌）	土屋　修
取締役	（化成品事業部長、アグリ事業部管掌）	玉木悟史
取締役		鷲巣信太郎（社外）
取締役	（常勤監査等委員）	白石伸次
取締役	（監査等委員）	伊藤　尚（社外）
取締役	（監査等委員）	堀越　孝（社外）
取締役	（監査等委員）	中里猛志（社外）

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1－1 電話　0120-232-711（通話料無料） 郵送先　〒137-8081　新東京郵便局私書箱第29号　三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL　https://www.kunimine.co.jp/ （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。）

（ご注意）
1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

未来のニーズを創造する
クニミネ工業株式会社

〒101-0032　東京都千代田区岩本町一丁目10番5号
TEL.03-3866-7251（代表）
URL.https://www.kunimine.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙
VEGETABLE OIL INK
UD FONT